

の ぐち そう いち う ちゅう ひ こう し

野口聡一宇宙飛行士

こく さい う ちゅう ちよう き たい ざい ちゆう
～国際宇宙ステーション(ISS)に長期滞在中～

発行：福岡県青少年科学館 令和3年2月



ISSに接近するクルードラゴン
(NASA)

民間企業の宇宙船で国際宇宙ステーションへ

野口聡一宇宙飛行士ら4名を乗せたアメリカの民間企業スペースXの宇宙船「クルードラゴン」は、令和2年11月16日にファルコン9ロケットで打ち上げられ、翌17日に国際宇宙ステーション(ISS)へのドッキングに成功しました。

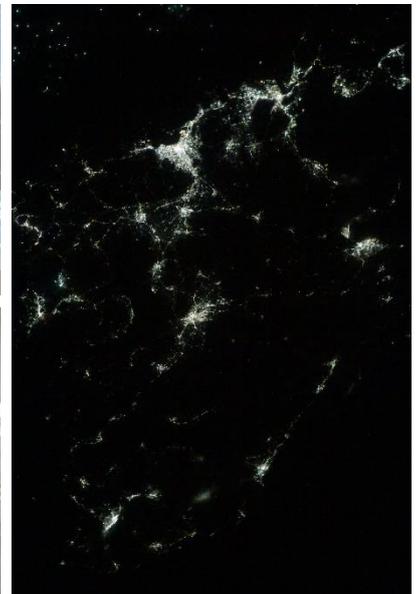
クルードラゴンは、民間の宇宙船として初めて運用段階に入ったもので、現在もISSに接続されています。ドッキングから約半年後の令和3年5月頃に再び野口氏らに乗せ、地球に帰還する予定です。

野口氏はどんなことをしているの？

今回のミッションでは、ISS各施設の維持・保全、ヒトのiPS細胞を応用した立体的な臓器を作る基盤となる実験、薬を開発する支援事業や、超小型人工衛星の放出事業などに取り組んでいます。また、宇宙メディア事業として日本実験棟「きぼう」に設置されたスタジオで、昨年末にはNHK紅白歌合戦に生中継で出演したり、宇宙から年越しカウントダウンライブを配信したりしました。その後もTwitterにISSでの日常(散髪の様子やゴミの処理について)や、ISSから見た日本・世界各地の写真などを定期的に投稿するなど、積極的にISSから情報を届けてくれています。



上：7枚の窓を持つ「キューポラ」内の様子
下：「きぼう」にて作業を行う様子
(JAXA/NASA)



野口氏がISSから撮影した夜の九州地方
(野口氏公式Twitterより)

自身4度目となる船外活動の実施決定！

ISSでは、1月下旬から2月にかけて、4回の船外活動(Extravehicular Activity: EVA)が実施されます。野口氏はカスリーン・ルビンス氏とともに4回目の船外活動を担当する予定です。担当する船外活動の日程や作業内容は、4回のうち前半2回の船外活動実施後に決定される予定です。

野口氏にとっては、15年ぶり4度目の船外活動となり、日本人宇宙飛行士として最多となります。野口氏は今回の船外活動について「初心を忘れず、安全第一、全集中で臨みます！」とTwitterで力強く宣言されていました。



S114E5977

15年前の野口氏の船外活動の様子 (JAXA/NASA)